

よいち

社協
だより

2022

1
月号

No.97

まちづくり情報誌 ーみんなの思いが地域のチカラにー

年4回発行：1・5・7・10月

村上 康子 様



徳田 友香 様



菊 譲 様

川合 秀一 様



庄木 称生 様



内村 翔子 様



伊藤 未来 様



奥田 雄大 様

賀正

あけまして
おめでとうございませう

特集 令和3年度福祉講演会 P.2・3

P.2 年頭のご挨拶

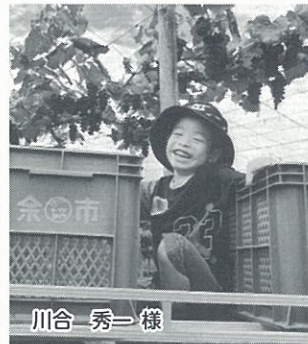
P.4・5 令和3年度社協会費納入のお礼
(一般会員/法人会員/団体会員)

P.6 暮らしキーワード

P.7 2021ふれあいフォトコンテスト入賞作品

P.8 インフォメーション

2021ふれあいフォトコンテスト応募作品の一部



川合 秀一 様



北島 敏子 様



中野 隆史 様



後藤 菜摘 様



阿部 和彦 様



北島 之子 様

発行 社会福祉法人余市町社会福祉協議会

〒046-0011 北海道余市郡余市町入舟町400番地

☎ (0135) 22-3156 ☎ (0135) 23-3664

<http://www.yoichi-shakyo.or.jp/>

この広報誌は、社協会費・共同募金助成金・広告料の一部を活用しています。

講師からのキーワード

◆認知症の終末期

- ・歩行困難
- ・食事摂取困難
- ・坐位保持困難
- ・嚥下困難
- ・あらゆる身体機能の低下など

◆緩和ケアとは(WHO2002の定義)

- ・生を肯定し、死ぬことを正常なプロセスと見る
- ・死を早めることも遅らせることもしない
- ・苦痛となる症状の軽減を図る
- ・死が訪れるまで積極的に生きるための支援
- ・その人の心理的・スピリチュアルな側面の支援
- ・その人と家族に亡くなった後までも支援する体制・あらゆる身体機能の低下など

福祉講演会 参加者アンケートより

参加者の声

一部抜粋

- ▶お手伝いしてほしい具体的な活動は何か？何を欲しているのか？つい、独りよがりな考え方しかできません。色々な気付きの動機を与えて下さいました。ありがとうございます。(60代)
- ▶食事や排泄のケアなど、一般的だと思っているケアがもっと工夫できると気付かされました。ありがとうございます。(40代)
- ▶現在、元気で過ごしていますが、これからの生きる時間の参考になりました。認知症を経て亡くなった母の介護の経験を思い出し、うなずくことが多くありました。(70代)
- ▶両親は若くして亡くなりましたが“親とのかわりと重なって”とても胸にせまるものがありました。(50代)



●年頭のご挨拶



年頭のご挨拶

社会福祉法人 余市町社会福祉協議会

会長 絹野 秀 克

新年あけましておめでとうございます

令和四年の新春を皆様とともに迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。

日頃、皆様方には本会の地域福祉推進事業各般に亘り、ご支援とご協力を賜り、衷心より感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年はコロナ禍の中で東京オリンピックが開催され、日本歴代最多のメダル獲得数となるなど、日本中に明るいニュースを届けておりました。一方で昨年八月は西・東日本を中心に記録的な大雨が発生し、土砂災害や河川の氾濫が相次いだことについて、気象庁の検討会は「異常気象といえる」と指摘し、改めて地球温暖化の影響により災害のリスクが高まっているとの見解を示しました。

そして一昨年来、世界中が思いもよらぬ新型コロナウイルス感染症との闘いに明け暮れ、昨年九月末の緊急事態宣言解除後は新規感染者数も減少傾向にありますが、油断をせず、今一度一人ひとりが感染対策を徹底

し、みんなで支え合いながらこの危機を乗り越え、一日も早く「日常の社会生活」に戻ることを切に願うものでございます。

社会福祉協議会は、これまで「誰もが安心して、自分らしく暮らせる地域社会」を目指して、各事業を推進して参りましたが、コロナ禍における新たな地域課題の把握に努めると共に、関係各位との連携の下、より地域に求められる福祉サービスの提供に向け、地域のためにその役割を発揮していけるよう、役職員一同一丸となって取組んで参る所存でございます。

私も昨年、社会福祉協議会会長の重責を担い、本町の「地域福祉の推進」に一層邁進する覚悟でございます。

どうか皆様におかれましても、誰もが安心して暮らすことができる地域社会実現のため、一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、新型コロナウイルス感染症が一日も早く収束し、新しい年が皆様にとって幸多き一年となりますことを心よりご祈念申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

特集

令和3年度 福祉講演会

9月23日(木・祝) 余市町中央公民館にて

主催：社会福祉法人 余市町社会福祉協議会

【テーマ】

「認知症を堂々と生きる」 ～ご本人の思いに応える看取り～

〈講師〉武田 純子 氏

グループホーム福寿荘 総合施設長

人生100年時代を迎えつつある現在、多くの人がいづまでも自分らしく穏やかに過ごしたいと望んでいる。

本年度は、認知症への正しい理解を深め、介護家族と本人への支援を考える機会となるよう、グループホームで終末期の看取りまで担い、認知症になっても最期まで「尊厳」を守るための向き合い方等について、認知症ケアの第一人者である武田先生よりお話いただきました。

講演の一部より

年齢を重ねると“認知症”になるのは当たり前。
それは病気ではなく、長寿の証である。
もし自分が認知症になったとき、どうしてほしいのか、自分事として考えることが大切・・・
多くの方が認知症は予防できると信じている。
努力して認知症になるのを少し先送りできたとしても、不老長寿の薬がない様に、認知症を防ぐ方法はありません。
それより、年をとったら誰でも認知症になるという事実を受け入れ、認知症になったときの生き方を今から考えておくべき。



感染症対策により入場者数の制限を行い、55名の参加者となりました

会員募集

健康で働く意欲のある
余市町在住で60歳以上の元気な方
募集してます。

空いた時間で短期の就業。あなたのライフスタイルに応じた働き方ができます。

→ 高齢者の知識・経験を活かして働ける

公益
社団法人

余市町シルバー人材センター



就業のご相談はお気軽にお問合せ下さい

☎22-7641 FAX.22-7642

余市町黒川町5丁目22番地

<http://www.yoichi-sc.or.jp/>

令和3年度社協会費について、多くの町民の皆様からご協力頂きありがとうございました。福祉委員をはじめ区会関係者の皆様には、会員加入にあたりご協力頂きまして心よりお礼申し上げます。

会員加入とは…

地域福祉推進に取組む社協の運営やサービスの参加・協力を財政面でお願いするものです。

一般会員

(一口500円)
社会福祉に理解や
関心がある方なら
どなたでも

法人・団体会員

(法人一口1,000円以上)
(団体一口500円以上)
社会福祉に理解ある
企業、事業所、
団体、施設等

第19期 福祉委員 48名 (任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日)

大川地区 副委員長 山崎直子氏 (大川1)

区会名	世帯数	会費納入額	福祉委員	入会戸数
大川1	57	30,000	山崎直子	60
大川2	52	15,000	内海久子	30
大川3	71	34,000	佐々木順子	68
大川4	72	28,000	阿部美智子	56
大川5	111	38,500	植松祐子	70
大川6	228	8,000	羽二生 茂	16
大川7	349	142,500	岡部英治	285
大川8	271	107,500	山口明男	214
大川9	151	40,500	石坂君子	80
大浜中西	194	25,000	田中靖浩	50
大浜中東	331	154,500	目黒一男	306
栄 町	111	50,000	中野幸子	100
小 計	1,998	673,500		1,335

福祉委員長 室原 盛利氏 (山田町)

(単位：円)

中央地区 副委員長 松本 文氏 (入舟1)

区会名	世帯数	会費納入額	福祉委員	入会戸数
朝日町	114	38,000	西野たい子	76
入舟1	44	15,000	松本文	30
入舟2	171	61,500	島田貢行	114
山田町	306	124,000	室原盛利	253
美園町	274	90,000	小路口博康	180
浜中モイロ	116	36,000	松原ひとみ	72
小 計	1,025	364,500		725

西部地区 副委員長 酒井近義氏 (富沢1)

区会名	世帯数	会費納入額	福祉委員	入会戸数
浜中町	99	37,500	佐藤裕一	75
沢町1	76	28,000	得田喜代美	54
沢町2	219	50,000	大野哲嗣	100
沢町3	30	13,500	小山邦彦	27
富沢1	153	42,000	酒井近義	84
富沢2	135	44,500	合田 勲	89
富沢3	145	41,500	富塚美保子	83
富沢4	243	50,000	坂本重徳	100
港 町	196	50,000	櫻井 豊	100
梅川1	38	14,000	内田豊明	28
梅川2	97	39,500	馬場有里	79
梅川団地	86		欠 員	
豊丘町	70	20,000	碁石美保	40
白岩町	8	4,000	葛西重行	8
潮見町	3	1,500	成田嘉蔵	3
豊浜町	17	8,000	工藤久美子	16
小 計	1,615	444,000		886
R3合計	7,309	2,258,900		4,487

黒川地区 副委員長 北村博明氏 (黒川1)

区会名	世帯数	会費納入額	福祉委員	入会戸数
黒川1	105	20,000	北村博明	40
黒川2	48	35,000	梁川英一	70
黒川3	74	30,000	住吉律子	60
黒川4	72	24,500	齊藤秀敏	36
黒川5	117	50,000	山崎時雄	100
黒川6南	164	20,000	今堀文恵	40
黒川6中央	157	20,000	今堀小枝	40
黒川6北	284	55,000	弘津明子	110
黒川7南	320	144,000	加我秀一	288
黒川7北	250	50,000	柴山昭二	100
黒川八幡	509	173,500	金澤雅志	347
共 栄	306	84,900	市川靖雄	170
黒川8	183	50,000	木村 豊	100
登 町	82	20,000	古川正幸	40
小 計	2,671	776,900		1,541

社会福祉協議会の活動は
皆様からの会費で支えられています

令和3年度社協会費納入
ありがとうございました

余市町社会福祉協議会は、地域の皆さんに支えられた民間の団体です。誰もが安心して暮らす事ができるまちづくりをめざし、地域の福祉推進に取組んでいます。皆様から寄せられた会費は、社協が実施する地域福祉事業の人件費を除いた事業経費の大切な財源として活用しています。

年中無休 24時間営業

お客様の想いに寄り添い、まごころを込めた葬儀をお届けします。

24時間365日ご利用可能な安置施設を完備

(有)余市葬祭社

中道造花店

余市町黒川町12丁目83-4(本社)

☎22-3254 FAX 23-4241



もしものとき安心と信頼の全国ネット
if共済会取扱加盟店

●経済産業大臣認可 全国葬祭業協同組合連合会
●国土交通大臣認可 全国霊柩自動車協会 加盟店

葬儀専用式場

中道すすらんホール

住宅型御安置施設

中道すすらんホール 別館 和 なごみ

余市町黒川町13丁目10-1 ☎21-4499

家族葬・法要式場

中道さくらホール大川

余市町大川町3丁目79 ☎48-9494



令和3年度 法人・団体会員のご紹介

社協会費納入ありがとうございました

みんなの思いが地域のチカラに...

私たちも応援しています

大川地区 (6社)

吉野包装資材店
(有)服部葬儀社
(株)越智自動車
赤石建設(株)
(株)おおはし
和田建設工業(株)

黒川地区 (16社)

中道仏壇店
余市商工会議所
(株)ホンダ
(有)柿崎商店
(株)高橋配管設備

小樽つばめ交通(株)余市支店
(株)平塚三郎商店
余市精菱機械(株)
(株)プロファイル
イオン北海道(株)イオン余市店
後志環境管理(株)
中井金物(株)
社会福祉法人北海道社会事業協会余市病院
中村建設(株)
行政書士・山本勝美事務所
医療法人社団修徳会林病院

西部地区 (11社)

糠塚水産(株)
(株)菊地石油

田中内科医院
余市建設業協会
中山建設(株)
坂本商事(株)
(株)関組
(株)サンリバーはせがわ
河辺石油(株)余市営業所
余市郡漁業協同組合
余市水産加工業協同組合

法人会員 33

268,000円 (一口1,000円)

特別養護老人ホームフルーツシャトーよいち
社会福祉法人徳風会養護老人ホームかるな和順
社会福祉法人徳風会ほうりゅうじ保育園
NPO法人余市はまなす
余市手話会
余市町赤十字奉仕団
社会福祉法人小樽四ツ葉学園/余市幸住学園
社会福祉法人小樽四ツ葉学園/余市豊浜学園
余市町老人クラブ連合会
余市町民生委員協議会
余市町民生委員O B会
余市更生保護女性会
余市町認知症の人を支える家族の会
余市地区保護司会
余市BBS会
余市医師会
余市町身体障害者福祉協会

余市青年会議所
余市町地域子ども会育成連絡協議会
余市町区会連合会
余市町食生活改善推進員会
余市町PTA連合会
公益社団法人余市町シルバー人材センター
NPO法人しりべし地域サポートセンター/コミュニティ茶屋
NPO法人しりべし圏域総合支援センター
公民館サークル本のひろば
NPO法人樹の杜
社会福祉法人恵盛会希望の家
認定NPO法人ふまねっと余市支部ふまねっと余市りんごっこ
(加入順)

団体会員 29

134,500円 (一口500円)

法人会員の登録はしていないが、区会を通じて納入頂いた会社など

領収証の中から会社名で記載されているものを抜粋しておりますので、掲載漏れ等がございましたらご容赦頂きますようお願い致します。

大川地区

ヘアーモードライト
すみれ美容室
ビューティサロンマリアン
グループホームボランの家
鮫ブッフエダイニングふじ
ジュン美容室
井上商店
聖城館
成田ふとん店
みなと下宿

まるやま下宿
竹谷接骨院
城野電機工業(株)
プチホテルノースショア
パーラーピクトリア余市店
余市川温泉(株)
フジタ美容室
フルサワ美容室入舟店

黒川地区

ラ・プラス

佐藤下宿
グループホーム夢

西部地区

(有)ドラックストアーさとう
花輪動物病院
下山電気商会(有)
みらく食堂
菊寿し
さいとう美容室
宮谷菓子店

宮川呉服店
菊地理容所
畑中理容所
木村ストアー
堀川管工設備工業(株)
てらデンタルクリニック
鈴木菓子店
花のなかえ
(株)NAGRACE

合計37件

(各区会の中に含まれています)

明けまして おめでとうございます

私にとってお正月の一番の楽しみは、おせち料理をいただくことです。1年間の健康と幸福を願い、新たな目標に向かって「頑張ろう」と心に誓いながら食卓を囲むひとときは、至福の時間です。

黒豆やだて巻き、紅白なますに栗きんとん、そして数の子。お正月限定の食べ物を用意



に「どれを食べようか」と迷いながらも、プチプチと口の中ではじける食感を楽しみたいと、まず口にするのは数の子です。

この「数の子」を通じて、印象に残った取材について紹介します。

昨年11月中旬、数の子を取り扱う余市町内の水産加工業の会社を訪ねました。お歳暮用や年末年始向けの納品が集中する時期で、従業員は大ぶり

の数の子を箱詰めする作業に追われています。

その会社では、余市産を筆頭に、外国産の数の子も扱います。主に米国産やカナダ産が多いという社長は「新型コロナウイルスの影響で」と説明を続けます。

社長によると、原材料を取り引する外国の漁船は、米国とカナダの国境付近で操業しています。漁船が漁場を変える度に、乗組員には2週間の隔

「数の子から見えたこと」

北海道新聞社余市支局

支局長 松嶋加奈



離期間やPCR検査が必要となり、それに伴い操業期間は短くなります。おのずと漁獲量も少なくなります。

操業できない期間も、乗組員への賃金は発生します。そこで船会社は出漁の条件として価格補償を加工業者などに提示します。「原材料を入手

するため、条件を受け入れざるを得ません」(社長)。数の子の価格が上昇している背景には、原材料不足に加え、こ

うした事情がありました。

一方、この会社に原材料が届いたのは、例年より2カ月遅い8月下旬のこと。作業開始も2カ月の遅れで、納品が集中する11月から12月初旬に向けて作業を急ピッチで進めなくてはなりません。

加工場でもコロナ禍の影響が出ています。外国人技能実習生が入国できず、例年なら25人ほど在籍している従業員が、昨年はその3分の2ほど

迫られ、さらに現場を圧迫します。

こうして多くの人の手を通して加工場に届いた数の子は、箱詰めされて全国各地に発送された後、店頭で売られ、わが家のお正月の食卓に並ぶのです。

この取材を機に、数の子以外の商品でも同様のことが起こっているのではないかと考えを巡らせるようになりました。新型コロナウイルスの影響が及ぶあらゆる事象について、注意を払うことが大切だとも感じました。

特に、この文章を書いている12月中旬は、新たに広がりつつある「オミクロン株」の感染力やワクチン接種の効果について、さまざまな情報飛び交っている状況です。感染対策をあらためて徹底し、気を引き締めて生活することが求められています。

これまで、数の子のプチプチとした食感を楽しんでいた私ですが、今年からは「さまざまな事象に、さらに目を向けていく」という目標に近づけるよう誓いながら、数の子を口にするのになると思います。そして、多くの驚きや気づきを与えてくれる余市の地で過ごす機会を与えられたことに、感謝しています。

●川柳・俳句・短歌集 記録研究／記念誌等
企画－印刷－製本－発行 あらゆる印刷の相談は…



〒046-0004 北海道余市町大川町14丁目1番地

株式会社 **おおはし**

TEL(代)0135-23-4591 / FAX 0135-22-3600

●mail:oo84@cocoa.ocn.ne.jp

よいち社協
2021

ふれあいフォトコンテスト

募集テーマ「えがお」

○応募資格 余市町在住又は在勤の18歳以上の方

入賞作品
決定

今年で14回目を迎えたフォトコンテストは、家族との絆や、子育てを支え合う様子、お年寄りの生き生きとした姿や生活の様子など、思い思いに「えがお」をイメージした作品の応募がありました。
最終審査の結果次の各賞が選ばれ、11月19日表彰式を行いました。
ご応募ありがとうございました。(応募作品の一部を表紙にも掲載しております)

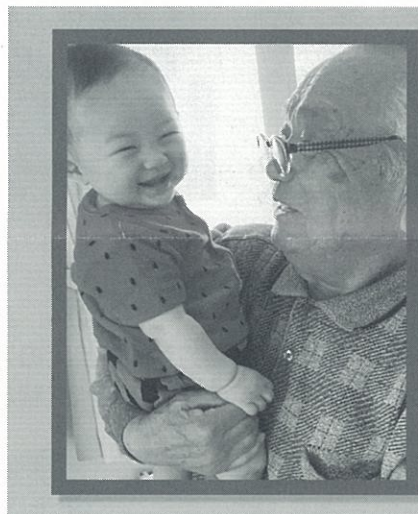


11月19日表彰式

応募いただいた作品は
町内各施設にて
展示しております。

・中央公民館
・保育所
・福祉センター
(富沢・入舟)
・北海道信用金庫
(余市支店・沢町支店) など
作品展示期間
(11月～翌年2月)

ドラマチック賞
(優秀賞2点)



△エピソード▽
・じじに抱っこしてもらったら誰が「おいで」と言ってもこないんだ。72才差のマブタチ♡

「だいすきなじじとすいかのぼく」

庄木 称生 様

ふれあい大賞(最優秀賞)



<エピソード>

・毎年恒例になったぶどう狩りでパチリ。

「ぶどうの下で
ハイチーズ」
野島隆史 様

審査員特別賞
(入賞2点)

△エピソード▽
・姉弟そろって叔母におんぶをせがむのをお爺ちゃんが手助けしていました。かわいかったのでパチリ。



「憧れの背中」

前田宏美 様

△エピソード▽
・大きくなった孫とたまに一緒に写った祖母の写真。



「ひょっこりはん」

村上康子 様

△エピソード▽
・休日いつも公園等であそんでいます。がこの日はお父さんと一緒に遊べた。とっても楽しんでいたようですよ。



「おとうさんと一緒に」

渡辺幸江 様

【主催】余市町社会福祉協議会 【共催】よいち社協子育てサポート・センター

認知症にやさしいまちづくり

●日時：11月30日(火)
●会場：中央公民館

あずましい余市カフェ(認知症カフェ)

第1回目を開催しました!

「よいち社協」では、認知症の人とその介護するご家族、地域住民、医療・介護の専門職の人など利用者を限定せず、自由に集い、交流・情報交換することを目的に、行政や関係機関・団体等と連携し、町受託事業として新たに取り組むこととなりました。

11月30日、第1回目を開催したところ、一般の参加者をはじめ、事前学習を受け登録したボランティア(運営スタッフ)の方々、介護や認知症に関する専門職の方々、認知症を支える家族の会のメンバー、紅志高校ボランティア局の生徒さん他、総勢54名もの参加者となりました。

当日の内容は、介護・医療相談をはじめ、「心の会」によるミニコンサート(懐メロ)、認知症予防の脳トレ・クイズ・ゲームを楽しんだ他、参加者同士の交流では、介護経験者の方から等身大のアドバイスをもらい、「抱え込んでいた悩みが軽減できた」などの声も寄せられ、地域とのつながりや気軽な介護の情報交換の場として、初めての方も参加しやすい雰囲気となりました。

第2回目は会場を福祉センター(富沢町)に移し、2月3日(木)開催の予定です。
どなたでもお気軽にどうぞ!

※詳細はよいち社協まで ☎22-3156



紙コップで「釣りゲーム」を楽しむ参加者



北海道コカ・コーラボトリング(株)様より ご寄贈いただきました(社協から町内福祉施設へ贈呈)

北海道コカ・コーラボトリング(株)様より、コカ・コーラ製品の飲料水8ケース(168本)を寄贈いただきました。

毎年、社会貢献活動の一環としてクリスマス時期に合わせ、道内の社会福祉施設等へ寄贈されております。

よいち社協が関わってから5回目となり、寄贈いただきました飲料水はすべて社協を通じ、町内の各福祉施設へ贈呈いたしましたのでご報告いたします。



道南営業部小樽営業課・伊深課長より受領(右)

令和3年10月~12月

ご寄付いただきありがとうございました

皆様のご寄付は福祉のまちづくり推進のため、有効に活用させていただきます。

- 一般財団法人 北海道信用金庫
ひまわり財団
理事長 吉本 淳一様
(取扱窓口：北海道信用金庫余市支店)
100,000円



余市支店・北川支店長より受領(左)

一般財団法人 北海道信用金庫 ひまわり財団の“社会貢献事業”とは

目的 道央圏及びその近郊における社会福祉の向上に寄与するとともに、民間社会福祉事業の振興を図り、地域経済・文化の一層の発展に寄与することを目的に毎年様々な事業を行っております。私ども「よいち社協」も余市支店様よりご推薦をいただき、今回助成対象となりました。心より感謝申し上げます。

1月6日(木)より通常業務となります。今年もよろしくお願い致します。